

### ■大学紹介



#### ① 大学の特色及び概要

##### (1) 特色と歴史

本学は昭和24年新制大学としてスタートし、現在は人文社会科・教育・理・工・農の5学部と人文社会科学・教育学・理工学・農学研究科の4大学院を有する総合大学として発展している。教育の伝統は、少人数によるゼミナール形式授業の重視、現代的・地域的課題に取り組む実学研究の重視等である。

##### (2) 教員及び学生数

2022年現在の教員数は505名、正規生の学生数は、学部生6,764名、大学院生は1,216名である。

#### ② 国際交流の実績

茨城大学は、海外23ヶ国の74大学等と交流協定を結んでおり、外国人研究者と留学生を多数受け入れている。

#### ③ 過去3年間の受入れ留学生数及び日本語・日本文化研修留学生（日研生）の受入れ実績

2022年：留学生数202人、日研生0人

2021年：留学生数268人、日研生1人

2020年：留学生数284人、日研生0人

#### ④ 地域の特徴

東京から北東100kmに位置する水戸市は、茨城県の政治・経済・文化の中心地として古くから発展してきた都市である。市の中心地には、日本3名園のひとつ、徳川家ゆかりの「偕楽園」があり、春になると梅を楽しむ人々で賑わう。広大な緑地や千波湖は市民の憩いの場として親しまれている。

### ■研修・コースの概要

#### ① 研修・コースの目的

##### a) 主に日事情・日本文化に関する研修

主に人文社会科学部で開講される授業の中から学生の興味や専攻に合わせて授業を選択し、専門教育を通じて日事情や日本文化に関する理解を深めることを目的とする。

併せて、学生の日本語能力に応じて「学術日本語」や「日本語研修コース」を受講し、大学生活に必要な日本語能力を高める。

#### ② 研修・コースの特色

研修生は留学生のためのクラス及び日本人学生と同一のクラスで学び、更に日本社会で生活することにより、日本語・日本文化を体験的に学ぶことができる。コース形態は下記のとおりである。

##### ・日本語・日事情：

グローバル教育センター・基盤教育科目で開講される主に留学生のための日本語・日本理解のための授業

##### ・日本文化：

日本人学生と日本について学ぶ基盤教育科目

##### ・日本関連科目：

人文社会科学部で開講される授業

#### ③ 受入定員

2名（大使館推薦1名、大学推薦1名）

#### ④ 受講希望者の資格、条件等

来日前に日本語の学習歴を有し、日本語で行われる授業の参加に必要な日本語能力を備えていること。（日本語能力試験N2以上）

#### ⑤ 達成目標

日本語・日本文化を学びながら、同世代の日本人学生と積極的にコミュニケーションを図ることで、より一層日本への関心や興味を持ち、理解を深めていく事を達成目標とする。

#### ⑥ 研修期間（在籍期間）

研修期間：2023年9月下旬～2024年8月下旬  
（在籍期間：2023年9月21日～2024年8月31日）

#### ⑦ 奨学金支給期間

2023年10月～2024年8月

#### ⑧ 研修・年間スケジュール・

9月下旬：渡日（2021年は9月21日）

オリエンテーション

10月：留学生支援団体及び地域住民等との交流会、国際交流パーティー

2月：学外研修

5月：学外研修

7月：全学の留学生とともに、関東または東北方面への国際交流研修

未定：日本文化体験（茶道、華道）

未定：中学・高校生との交流

8月末：修了式

8月末：帰国（2022年は8月31日）



## ⑨ コースの修了要件

### a. 必修科目

日本語研修コースで開講される所定の授業を履修する。プレイスメントテストの結果により、指定される必修授業を履修すること。

### b. 選択科目

以下の授業科目の中から、自身の興味・関心と日本語力に応じて科目を選択し履修する。

- ・ 基盤教育科目（学術日本語を含む）
- ・ 人文社会科学部専門科目

a, bの科目群から計32単位相当の単位を取得することが修了要件となる。なお、成績証明書の発行は可。

## ⑩ 研修・コース科目の概要・特色

### 1) 研修・コース科目の特徴

研修生のレベルに対応する日本語授業の履修を中心とし、選択科目として日本語・日本文化に関する科目を履修する。

授業は原則として、前期(4月～8月上旬)と後期(9月下旬～2月上旬)各16週（内1週はテスト）開講される。

### 2) 研修・コース開設科目

#### I) 必須科目（○コマ数、時間数）・内容

##### グローバル教育センター開講科目

- レベル4:総合(4単位相当) : 文法・文型授業
- レベル4:口頭表現(2単位相当) : 発表授業
- レベル4:漢字(2単位相当) : 上級漢字
- レベル5:総合(2単位相当) : 文法・文型
- 日本事情(2単位相当) : 日本文化・習慣
- 日本体験学習(2単位相当) : 地域交流・見学

・プレイスメントテストの結果により指定される必修科目を受講すること。

・これらのクラスは茨城大学の「単位」ではないため、単位相当としている。



## II) 選択科目

### a. 基盤教育科目

- 「学術日本語I」(1単位) : 学術的な日本語の基礎
- 「学術日本語II」(1単位) : 学術的な日本語の応用

b. 人文社会科学部及び全学教育機構で開講される日本語・日本文化に関連する科目及び日本を理解する上で役立つ他の科目の中から、留学生が指導教員と相談の上、授業科目を選択し受講する。

### 3) 研修科目で地域の見学や地域交流等の参加出来る科目及びその具体的な内容

前述2)の必須科目の下記科目が含まれる。

- ・ 日本体験学習
- また、選択科目として下記科目等の履修が可能。
- ・ 5学部混合地域PBL :  
地域課題の問題解決を主目的として、グループ学習やプロジェクトを遂行しながら行う学習を学部横断で取り組むもの。

4) 日本人学生との共修がある科目及び具体的な内容  
前述2)の必須科目以外はほぼすべて日本人学生との共修である。

## ⑪ 指導体制

当該の留学生の関心領域に近い専門の教員が指導教員となり、グローバル教育センター教員が協力して、日本文化及び関連分野についての勉学が進むように指導する。

また、国際交流等に関心の高い日本人学生をチューターとして配置し、勉学面のみならず、生活面に渡るサポート体制を組む。



## ■ 宿 舎

### 国際交流会館

#### ○宿舎数

単身用 : (旧棟) 38室 (新棟) 35室  
夫婦用 : 2室 世帯用 : 2室

#### ○寄宿料

(月額) ※前納 : 無し  
単身用 : (旧棟) 5,900円 (新棟) 20,400円  
夫婦用・世帯用 : 14,200円

### ○宿舎周辺の生活情報、通学時間

国際交流会館から本学までは徒歩15分位で、入居期間は1年以内である。



## ■ 修了生へのフォローアップ

修了後の研究に対し、要請に応じてEメール等を通じて協力助言する。

## ■ 問合せ先

<担当部署>

茨城大学学務部国際交流課

住所 : 〒310-8512

茨城県水戸市文京2-1-1

TEL : +81-29-228-8056 (直通)

FAX : +81-29-228-8594

Email : StudentExchange01@ml.ibaraki.ac.jp

<ウェブサイト>

茨城大学グローバル教育センター :

<http://cge.lae.ibaraki.ac.jp/>

茨城大学 :

<https://www.ibaraki.ac.jp/>